

世紀末ウィーンでのソフトボール大会

元日本人会会長（ジェトロウィーンセンター所長）大関 眞一

北京オリンピックの女子ソフトボール金メダル獲得のシーンを旅先で観て、ふと、ウィーン滞在時の日本人会ソフトボール大会を思い出した。

1998年春に赴任し、その年の秋の大会は予選2試合共に「打てず、守れず」の大敗を喫してしまった。

次回は何とか雪辱をと、米国からグローブ10個を取り寄せ、日本からソフトボールを調達し、新緑の季節からジェトロ職員チームの練習が始まった。週に1～2回のペースで夕方早めに仕事を切り上げ、Alte Donauに近い「電波塔広場」での1時間強のバッティングと守備の練習に取り組んだ。「鬼コーチのノックの嵐」などとは無縁ながら「誉め殺しの言葉」も多少織り込んだ練習の後は、家族も入れてスペアリブや中華の夕食会を開いた。Alte Donauの川風に吹かれて、大きなスペアリブを肴に飲むビールの味は忘れ難い。

地道な練習によって（多少）磨かれた野球センスと元籍の縁で他機関から招いた補強選手達の活躍もあり、その年の大会は決勝戦で強豪日本人学校チームに惜敗という栄誉の準優勝を飾ることができた。参加チームは8だったように記憶しているが、日本企業が多数存在するドイツの主要都市の大規模な大会（数十チームの参加）とは一味違う実に和やかなスポーツ大会で、ピクニックのような楽しい秋の一日だった。



準優勝の後の打ち上げ会（前列左から3人目が筆者）

当時欧州No1とも言われた焼肉レストランで1999年9月

1990年代後半は、EUの東方拡大が進行するプロセスの中で、それまでの西欧の東端に位置するウィーンの国際ビジネス社会での役割も大きく変容していく時代でもあった。

総合商社や製造業大手の販売拠点等もハンガリーやチェコなどの前線に重点を移して行き、ウィーンに踏むとどまるビジネスマンは中東欧諸国への頻繁な出張に明け暮れることも珍しくはなかった。そのような多忙な人々にとって、ウィーンの街の有する多様な文化性、美味しい料理とワイン、そして季節感に溢れる日々の景観は、疲れた翼と乾いた心を癒すオアシスだったに違いない。沢山の国の大使館が出揃い、毎日数多くの観光客を上手に迎え、国際政治の潮流の変化を静かに受け入れる・・・そんな寛容なコスモポリタンを演じるウィーンっ子達は、「先の読めない現代を生き

る」ことの達人かもしれない。

オーストリアがEU加盟承認（1995年1月）を受ける際に、1000語近い「ドイツ語の方言」の使用の是非が審査されたと聞く。ジャガイモをErdapfelと呼ぶのもその一部だったそうだが、審査結果は幸い「無罪放免」となり、今日に至っている。コーヒーに入れるホイップクリームのSchlagobersも初めて聞いた時は、全く意味不明で、自宅で独和辞書を引いても判らなかつたことが懐かしい。



シュレック夫妻（Rudolf & Henriqueta Schreck）。Rudolfさんは2004年3月にご逝去。

日本人会活動を通じてウィーンの地で出会った多くの人々（日墺交流の架け橋的存在であったシュレック夫妻や日本人会事務局のしっかり娘の内藤幸枝さん他）やワイナリー訪問など楽しかった数々のイベントのシーンは、帰国して7年以上経過した今も、走馬灯のように思い起こすことができる。



シュレック夫人と内藤幸枝さん（大八で）の活動を遠い日本から見守りたいものだ。

“国民食”「日清のチキンラーメン」や“二輪の国民車”「HONDAのスーパーカブ」と共に、50年の歴史を歩んできたオーストリア日本人会、これら三者に共通するものは、生活密着の庶民性と日常性を備えていることだと感じる。これからも、末永い日本人会の着実で等身大の活動を遠い日本から見守りたいものだ。

<大関 眞一（おおぜき しんいち）>

Wien 滞在時期：1998年3月～2000年12月 ジェトロ・ウィーンセンター所長（経済産業省より出向）、この間、日本人会会長も務める。

プロフィール：1948年仙台生まれの団塊世代。1990年2月～1993年6月ドイツのハンブルグに駐在（ジェトロ・ハンブルグセンター次長）。現在は日本鉱業協会（非鉄金属の経済団体）の専務理事で、資源外交や都市鉱山（リサイクル）問題などに取り組んでいる。ウィーンには1979年～81年頃に原子力関係の会議で5回ほど出張し、東西の結節点のようなウィーンの「危うさ」に魅力を感じた。

ウィーン駐在時代は、日本人学校の日墺交流などに大きな貢献をされたシュレック夫妻に家内ともども大変お世話になった。また、「ウィーンの風」のイラストレーター兼編集者でバレエをこよなく愛された、日本人会事務局職員（当時）の内藤幸枝さん（2007年秋日本で加療中に夭折された）の屈託のない笑顔も忘れ難い思い出である。